

氏名	佃 志津子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	医療福祉 医療心理 医療ソーシャルワーク				
学位	修士（カウンセリング）				
学歴	2010年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程修了 2015年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程				
経歴	1998年～2011年市川市保健医療福祉センター市川市リハビリテーション病院、2013年～2016年神奈川県立病院機構（神奈川県立子ども医療センター、神奈川県立がんセンター）、2016年4月～埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科准教授				
所属学会（役職）	日本保健医療社会学会、日本カウンセリング学会、日本老年行動科学学会、日本ソーシャルワーク学会、日本社会福祉学会、日本医療社会福祉協会、日本精神保健福祉協会、日本発達心理学会、等会員				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	病いの体験からの肯定的変化と関連要素の構造の検討 —中高年の女性ががん体験者に焦点をあてて—	共著	あり	高齢者のケアと行動科学, 24, 25-41.	佃志津子・大川一郎	2019年12月
2	がんと「折り合う」ことに関する研究	共著	なし	筑波大学心理学研究, 58, 93-103.	佃志津子・大川一郎	2020年3月
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	医療ソーシャルワーカーのメンタルヘルスに関する研修効果 —レジリエンスと自尊感情・職務満足に焦点をあてて—	共同		第67回日本医療社会福祉協会全国大会・第39回日本医療社会事業学会（神奈川県川崎市）	○佃志津子・遠藤亮平・小森有美子・中山美奈子	2019年6月
2	高校生を対象とした「がん教育」と「生きる力」に関する研究	共同		日本カウンセリング学会 第52回札幌大会（北海道札幌市）	○佃志津子・大川一郎	2019年8月
3	生きる力に焦点をあてたがん教育プログラムの開発と効果の検討	単独		筑波大学大学院人間総合科学研究科研究セミナー（東京都文京区）	○佃志津子	2019年5月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	レジリエンスアンケート報告書	単独		埼玉県立鳩ヶ谷高等学校	○佃志津子	2019年6月
2	生きる力 —逆境と向き合い生きる力—	単独		埼玉県立大学WEB講座	○佃志津子	2019年6月
3	死を様々な視点から考える —家族支援の立場から—	単独		埼玉県立大学WEB講座	○佃志津子	2020年2月
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	八潮市地域介護予防把握事業			住民主体による地域の包括的支援体制モデル構築へ向けた基礎的調査・研究	研究分担者	2019年4月～9月

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	医療福祉論	○	15	医療を社会との繋がりの中で捉える視点を培うことを目的とし、医療を成り立たせる法制度とシステム、診療報酬、医療保険等の社会保障制度、医療関連職種と連携体制、価値と倫理などを伝える授業とした。
2	医療ソーシャルワーク論	○	15	小児周産期医療、リハビリテーション医療と障害、高齢者医療、退院支援と地域連携、意思決定支援、情報管理など、保健医療分野におけるソーシャルワークの実践や多角的な支援の視点を培う授業とした。
3	精神科ソーシャルワーク論Ⅳ	○	15	アクティブラーニングにより、精神科領域における各種評価や人間理解の多角的視点、メンタルヘルス支援等の知識と技術を培う授業とした。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク演習Ⅱ		15	「医療における支援」をテーマに、患者・家族理解の視点や多職種協働の視点を培うグループワーク、ロールプレイを行った。
2	ソーシャルワーク演習Ⅲ		8	グループワークについて、基本的な視点とグループプロセスの学習から、模擬的なグループワークの演習と振り返りを行った。
3	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	「自己理解と他者理解」と「死生観」をテーマに、対話分析、心理尺度、アートセラピー、絵画統覚検査、文献輪読、グループワーク等を組み合わせた演習を行った。
4	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	保健医療分野のソーシャルワークについて、事例検討やロールプレイ、グループ学習、患者・家族との対話へ場への参加等により多角的な視点を培うことを目的とした演習を行った。
5	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	事例検討、グループ学習、病院でのフィールドワークと発表、メディカル・カフェの運営等を通じて、患者・家族支援の実践的な学びを深めるとともに、専門職としての準備性を獲得することを目的とした演習を行った。
6	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	
6	卒業研究		2019年4月～12月	学部生3名の卒業研究について指導を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		2019年4月～7月	医療機関、地域包括支援センター、福祉事務所における実習の事前学習を指導した。
2	ソーシャルワーク実習Ⅱ		2019年4月～9月	医療機関、地域包括支援センター、福祉事務所における実習指導を担当した。
3	共生社会実習Ⅲ		2019年4月～7月	医療機関における共生社会実習の希望者について、実習先との調整を図るとともに実習前・実習中・実習後の指導を実施した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019年4月～12月	主指導	3名
2			副指導	名
			主指導（指導教員）	名
			副指導（指導補助教員）	名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	国家試験科目別対策講座 「保健医療サービスと社会保障制度」	2020年1月9日	社会福祉子ども学科4年次生に対し、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験対策として「保健医療サービス」と「社会保障制度」の2科目について模擬問題を作成・実施し、解説を行った。	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第7回 がん哲学外来メディカル・カフェ in SPU 講演会	埼玉県立大学 佃研究室	「小さいのちと向き合う」というテーマで、地域住民・保健医療福祉従事者等を対象とした講演会と対話の場を企画・運営した。	2019年6月
2	社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学社会福祉子ども学科社会福祉学専攻	実習スーパービジョン論(1)(2)として、5時間の演習を行った。	2019年7月
3	八潮市伊草団地住民勉強会	八潮市・埼玉県立大学	八潮市と合同で「伊草団地のこれからの暮らしを考える」というテーマで、対象地域の住民との学習会を行った。	2019年9月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	公益社団法人埼玉県社会福祉士会	倫理委員会委員		2019年4月～2021年3月
2	埼玉県八潮市	八潮市 地域福祉計画推進委員会委員		2019年4月～2021年3月
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	大樹生命保険株式会社	パンフレット(障害認定)監修	2016年～現在
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携委員会 委員		2018年4月～2020年3月
2	全学的委員会及びセンター業務等	男女共同参画推進委員会 相談員		2018年4月～2020年3月
3	学科等における委員会等	精神保健福祉士審査委員会 委員		2019年度
4	学科等における委員会等	社会福祉専門演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、卒業研究調整(3年次)		2019年度
5	学科等における委員会等	卒研運営委員会		2019年度
6	大学広報活動	WEB講座「生きる力」企画担当		2019年6月
7	大学広報活動	オープンキャンパス要員		2019年8月
8	学生支援	学年担当(3年次生)		2019年度
9	学生支援	進路担当教員		2019年度
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	がん哲学外来メディカル・カフェ in SPU 主宰(2016,10～)			